2027年3月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　コムシード株式会社　　上場取引所　名
コード番号　　3739　　ＵＲＬ　https://www.commseed.net/
代表者　　（役職名）代表取締役社長CEO　　（氏名）塚原　謙次
問合せ先責任者　（役職名）コーポレート本部長　　（氏名）吉田　篤史　　ＴＥＬ　03-5289-3111

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	980	△9.8	△46	－	△30	－	△25	－
2026年3月期中間期	1,087	△10.6	49	－	58	－	32	－

（注）包括利益　2027年3月期中間期　△36百万円（－%）　2026年3月期中間期　25百万円（－%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	△1.91	－
2026年3月期中間期	2.41	2.41

（注）2027年3月期中間期の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	1,461	766	51.2
2026年3月期	1,517	797	51.7

（参考）自己資本　2027年3月期中間期　748百万円　2026年3月期　784百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年3月期	－	0.00			
2027年3月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	21.2	240	71.3	230	57.3	210	112.5	15.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

詳細は、添付資料P4「1.経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　ー社　（社名）　ー　　、除外1社　（社名）CommSeed Korea Co., Ltd.

（注）詳細は、添付資料P9「2.中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（当中間期における連結範囲の重要な変更）をご覧ください。

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	13,511,416株	2026年3月期	13,511,416株
②　期末自己株式数	2027年3月期中間期	148株	2026年3月期	148株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	13,511,268株	2026年3月期中間期	13,486,431株

※　第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1.経営成績等の概況（3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（当中間期における連結範囲の重要な変更） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の業績は、売上高980,045千円（前年同期比9.8%減）、営業損失46,678千円（前年同期は49,254千円の営業利益）、経常損失30,450千円（前年同期は58,719千円の経常利益）、親会社株主に帰属する中間純損失25,766千円（前年同期は32,540千円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりました。

なお、前連結会計年度までは「モバイル事業」及び「ブロックチェーン事業」を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「モバイル事業」の単一セグメントに変更しております。

当中間連結会計期間は、第1四半期に引き続き、今後の収益拡大に向けた新規タイトルの開発及びバーチャルホール領域におけるユーザー基盤拡大のための先行投資を実施する期間と位置付け、事業を展開いたしました。前年第3四半期にリリースしたバーチャルホール「スロパチスピリット」及び受託開発が売上高に寄与したものの、主力の有料ゲームアプリにおいて、一部新規タイトルの配信時期が第3四半期以降となったことなどにより、売上高は前年同期を下回りました。利益面では、売上高の減少に加え、売上原価が前年同期に比べて増加したことにより、売上総利益が減少しました。一方、販売費及び一般管理費は前年同期に比べて減少しましたが、売上総利益の減少を補うには至らず、営業損失を計上しました。

当社が展開するモバイル事業におけるサービス分野別の主な取り組みは以下のとおりであります。

①有料ゲームアプリ

当中間連結会計期間におきましては、第3四半期以降に配信を予定する新規タイトルの開発及び配信準備を進めるとともに、当第2四半期連結会計期間に新規2タイトルを配信いたしました。既存タイトルの売上減少等により前年同期比では減収となりましたが、第3四半期以降は先日配信を開始した「L 東京喰種」をはじめとする合計6タイトルの配信を計画しております。

②ソーシャルゲーム

バーチャルホール領域では、「グリパチ」及び「スロパチスピリット」の2タイトル体制のもと、ユーザー基盤の拡大に取り組んでまいりました。当中間連結会計期間は、前連結会計年度の第3四半期に配信を開始した「スロパチスピリット」が売上に寄与しました。また、外部決済の活用によるプラットフォーム手数料の抑制を進めるとともに、海外市場への展開及び既存タイトルの運営に取り組んでおります。

③受託開発および運営業務

子会社である株式会社アイビープログレスの案件を中心に、ストック型案件、フロー型案件ともに堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。

④広告事業

ソーシャルゲーム内の広告及び無料広告モデルのゲームを提供し、堅調に推移しております。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　財政状態の状況

当中間連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

（資産）

当中間連結会計期間末における資産は1,461,870千円（前連結会計年度末比55,364千円減）となりました。

流動資産では974,131千円（同146,946千円減）となりました。これは主に現金及び預金224,360千円の減少とその他61,752千円の増加によるものです。

固定資産では487,738千円（同91,582千円増）となりました。これは主に無形固定資産でソフトウエア28,599千円の減少と投資その他の資産で投資有価証券117,533千円及び繰延税金資産11,783千円の増加によるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は695,736千円（同23,722千円減）となりました。

流動負債では565,500千円（同2,970千円減）となりました。これは主に買掛金15,775千円の増加に対し、未払法人税等17,641千円の減少、契約負債3,751千円の減少等によるものです。

固定負債は130,236千円（同20,752千円減）となりました。これは主に長期借入金20,202千円の減少によるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は766,133千円（同31,641千円減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純損失25,766千円を計上したこと等によるものです。

②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は447,475千円（前連結会計年度末比224,360千円の減少）となりました。

当中間連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は96,583千円（前中間連結会計期間は3,579千円の獲得）となりました。

主な内訳は、減価償却費30,424千円、仕入債務の増加15,775千円、売上債権の減少1,535千円を要因とした資金増加と、税金等調整前中間純損失36,816千円、その他の流動資産の増加26,641千円、契約負債の減少3,751千円、その他の流動負債の減少1,739千円を要因とした資金減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は107,769千円（前中間連結会計期間は112,354千円の使用）となりました。

主な内訳は、投資有価証券の取得による支出111,816千円の資金減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は20,742千円（前中間連結会計期間は89,028千円の獲得）となりました。

主な内訳は、長期借入金の返済による支出20,202千円の資金減少によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度におけるパチンコ・パチスロ市場におきましては、市場の主力となった「スマートパチスロ（スマスロ）」「スマートパチンコ（スマパチ）」※1の普及加速を背景に市場全体の活性化が続いており、当社の主力領域であるバーチャルホールサービスおよび有料ゲームアプリに対する需要が大幅に高まる環境が整っております。当社はこの好機を確実に取り込み、注目度が高い有料ゲームアプリの積極的な投入を進めるとともに、バーチャルホール領域においては強固な2タイトル体制を軸としたユーザー基盤の拡大・収益性の向上を推進してまいります。

また、当連結会計年度より、不採算事業を整理し、既存事業の安定的な収益確保と将来を見据えた新たなコンテンツ開発への投資バランスを最適化することで、持続的な企業価値の向上と業績の早期拡大に努めてまいります。

当中間連結会計期間の業績は、一部新規タイトルの配信時期が第3四半期以降となったこと等により、公表済みの第2四半期（中間期）連結業績予想を下回ったものの、通期計画は、期初より第3四半期以降の大型タイトルの投入を中心に、下期に売上及び利益の拡大を見込んでおります。引き続き、新規タイトルの投入及び既存サービスの収益性改善を進め、通期業績予想の達成に向けて取り組んでまいります。

予想と実績値との差異の詳細は、本日公表の「第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

以上により、2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高3,000,000千円（前期比21.2%増）、営業利益240,000千円（同71.3%増）、経常利益230,000千円（同57.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益210,000千円（同112.5%増）を見込んでおり、2026年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本業績予想には、新規事業、先般の資本業務提携、および検討中のM&A等による影響は織り込んでおりません。

※1メダルや玉に直接触れずに電子情報で遊技を行う「スマート遊技機」。ホールの省力化や不正防止、高い遊技性能を実現し、現在のパチンコ・パチスロ市場の牽引役として導入が急速に進んでいる。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	699,836	475,475
電子記録債権	9,500	9,000
売掛金	299,700	298,664
棚卸資産	20,535	33,472
その他	97,668	159,420
貸倒引当金	△6,161	△1,901
流動資産合計	1,121,078	974,131
固定資産		
有形固定資産	12,254	11,941
無形固定資産		
ソフトウエア	205,147	176,547
その他	685	685
無形固定資産合計	205,833	177,233
投資その他の資産		
投資有価証券	0	117,533
繰延税金資産	111,317	123,100
その他	66,750	57,928
投資その他の資産合計	178,068	298,562
固定資産合計	396,155	487,738
資産合計	1,517,234	1,461,870
負債の部		
流動負債		
買掛金	156,073	171,849
短期借入金	150,000	150,000
１年内返済予定の長期借入金	40,404	40,404
契約負債	85,935	82,183
引当金	3,920	4,280
未払法人税等	18,177	536
未払消費税等	1,424	8,047
その他	112,535	108,199
流動負債合計	568,470	565,500
固定負債		
長期借入金	120,694	100,492
役員退職慰労引当金	18,427	18,427
退職給付に係る負債	6,198	6,198
その他	5,669	5,118
固定負債合計	150,988	130,236
負債合計	719,459	695,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,451	50,000
資本剰余金	636,560	658,846
利益剰余金	△1,071,616	35,783
自己株式	△53	△53
株主資本合計	770,342	744,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	3,692
為替換算調整勘定	13,987	－
その他の包括利益累計額合計	13,987	3,692
新株予約権	13,445	17,865
純資産合計	797,775	766,133
負債純資産合計	1,517,234	1,461,870

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,087,025	980,045
売上原価	713,486	754,356
売上総利益	373,538	225,689
販売費及び一般管理費	324,283	272,367
営業利益又は営業損失（△）	49,254	△46,678
営業外収益		
受取利息	1,489	853
受取賃貸料	3,162	－
還付消費税等	9,987	－
貸倒引当金戻入額	－	4,260
雑収入	1,078	15,855
その他	136	0
営業外収益合計	15,853	20,969
営業外費用		
支払利息	5,585	2,979
暗号資産評価損	475	－
支払手数料	250	1,058
雑損失	76	704
営業外費用合計	6,387	4,741
経常利益又は経常損失（△）	58,719	△30,450
特別利益		
新株予約権戻入益	－	633
特別利益合計	－	633
特別損失		
減損損失	1,350	7,000
事業整理損	2,868	－
特別損失合計	4,218	7,000
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	54,500	△36,816
法人税、住民税及び事業税	18,387	2,758
法人税等調整額	3,572	△13,808
法人税等合計	21,960	△11,049
中間純利益又は中間純損失（△）	32,540	△25,766
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	32,540	△25,766

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	32,540	△25,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	3,692
為替換算調整勘定	△6,674	△13,987
その他の包括利益合計	△6,674	△10,295
中間包括利益	25,865	△36,061
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	25,865	△36,061

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	54,500	△36,816
減価償却費	13,821	30,424
減損損失	1,350	7,000
事業整理損	2,868	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,080	360
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△399	△4,260
株式報酬費用	4,974	5,053
受取利息及び受取配当金	△1,489	△853
支払利息	5,585	2,979
為替差損益（△は益）	－	△15,457
新株予約権戻入益	－	△633
未払法人税等（外形標準課税）の増減額（△は減少）	△1,109	△8,336
売上債権の増減額（△は増加）	26,073	1,535
棚卸資産の増減額（△は増加）	△10,913	△12,937
暗号資産の増減額（△は増加）	2,651	－
仕入債務の増減額（△は減少）	△31,083	15,775
その他の流動資産の増減額（△は増加）	19,130	△26,641
前払費用の増減額（△は増加）	△10,898	△19,039
長期前払費用の増減額（△は増加）	7,946	△1,516
未払費用の増減額（△は減少）	10,193	4,729
契約負債の増減額（△は減少）	△97,438	△3,751
その他の流動負債の増減額（△は減少）	18,742	△1,739
その他	1,604	△2,199
小計	17,190	△66,324
利息及び配当金の受取額	636	853
利息の支払額	△2,110	△3,051
事業整理損の支払額	△1,224	－
法人税等の支払額	△10,913	△28,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,579	△96,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△508	△1,512
無形固定資産の取得による支出	△111,846	－
投資有価証券の取得による支出	－	△111,816
差入保証金の回収による収入	－	5,559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112,354	△107,769
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	30	－
長期借入れによる収入	100,000	－
長期借入金の返済による支出	△10,200	△20,202
その他	△801	△540
財務活動によるキャッシュ・フロー	89,028	△20,742
現金及び現金同等物に係る換算差額	700	734
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△19,045	△224,360
現金及び現金同等物の期首残高	763,809	671,836
現金及び現金同等物の中間期末残高	744,764	447,475

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（当中間期における連結範囲の重要な変更）

当中間連結会計期間において、CommSeed Korea Co., Ltd.は清算したため、連結の範囲から除外しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年6月23日開催の第35回定時株主総会決議により、会社法第447条第1項及び第448条第１項の規定に基づき、資本金を1,155,451千円、資本準備金を586,560千円減少させ、その合計額1,742,012千円をその他資本剰余金に振り替えております。

また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を1,133,166千円減少させ、同額を繰越利益剰余金に振り替えることで欠損填補に充当いたしました。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日　至2025年９月30日）

「Ⅱ　当中間連結会計期間（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載のとおりであります。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日　至2026年９月30日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

当社グループは、従来「モバイル事業」及び「ブロックチェーン事業」の２つの報告セグメントに区分しておりましたが、「ブロックチェーン事業」については整理・撤退が計画通りおおむね完了したことを踏まえ、当社グループの事業展開と経営資源配分の意思決定プロセスの実態を適切に反映するものと判断し、当第１四半期連結会計期間より報告セグメントを「モバイル事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更により、前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間のセグメント情報の記載を省略しております。